



大明小学校

校長室から

令和5年1月10日

No. 10

文責 校長 三井 保



新しい年もよろしくお祈りします

大明小学校の子どもたちと、
子どもたちに関わる全ての方々にとって、
本年がすばらしい年となりますようお祈り申し上げます。



一日一日を大切に

子どもたちの元気なあいさつや歓声・笑顔が学校に戻ってきました。その様子からも子どもたちが楽しい冬休みを過ごすことができたのだと感じました。令和4年度の3学期が始まりました。保護者の皆様方には引き続き本校の教育活動に御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

昔からこんなことが言われています。「一月往ぬる 二月逃げる 三月去る (いちげついぬる にげつにげる さんげつさる)」『正月や節分などが目白押しな一月から三月までの時期は、時間の流れが早く毎日があっという間に過ぎ去ると喩えた言葉』です。ただ単に時の流れが速いことを喩えて言っているだけでなく「過ぎ去ってしまった時間は二度と戻らないので有意義に使いなさい。」という戒めの意味も込められています。「光陰矢の如し」と言われるように過ぎゆく時の速さはいつも同じなのですが、忙しい時ほど時間の経過が早いことは誰もが感じることです。新しい年を迎え、一つ歳を取るこのタイミングはだれにとっても大きな節目です。大明小学校で学ぶ皆さんには、この節目でこの一年をどのように過ごし、どのような年にしていかししっかり考えて欲しいと思います。終業式で「桃が厳しい寒さの中、次の年にきれいな花を咲かせ大きな実をつける準備をしている。」という話をしました。三学期は来年度を迎えるための「0(ゼロ)学期」と言われることがあります。皆さんも来年度に向け何か準備(目標をつくること)を始めることはできたでしょうか。きれいな花を咲かせ、大きな実をつける(目標を達成させより良い自分を実現させる)ためのエネルギーをしっかりと蓄えることができる三学期にしてほしいと思います。そのために・・・

一人一人の学力が少しでもアップできるような取り組みをしてほしいと思います。自分の祖父母やその兄弟達は戦争を経験し貧しい時代を生き抜いてきました。幼い頃、親戚の人たちと顔を合わせるとよく「勉強しろ!」と言われました。そう言ってくれた人たちは「貧しさを克服するためには勉強して知識をつけ、身を立てなければならない」ことを痛感していたからだと思います。時代が変わり今では皆さん恵まれた生活を送っていてそんなことを感じることはないと思いますが、本質は変わっていないと思います。ゲームをやりたい気持ちや、SNSを利用したい気持ちを「少し我慢」して将来の自分のために少し努力してみませんか。ご家族の皆さんもお子様の家庭学習の様子をご確認してくださいませようお願いします。

本校保護者の深澤様、杉山様より硬式テニスボールをたくさん寄付していただきました。児童用机、椅子の脚に取り付け着け、床の保護用に利用させていただきます。ありがとうございました。